



青木 宏允
Aoki Hiromitsu



青木さんの真庭の四季の作品
醍醐桜(左上)、ヒルゼン高原センター
(右上)、大津神社(左下)、下蒜山(右下)

青木 宏允さん(余野下)

写真家。真庭を拠点に、星空ツアーのガイドや写真教室、ウエディングフォト、家族写真の撮影などを行う。撮影の合間のラーメン巡りが楽しみ。

青木さんの写真はこちらから▶



真

MANIWA BITO

庭人

ある写真と出会い、写真家の道へ

昨年8月に写真家として独立し、市内外で活躍する青木宏允さん。それまで会社員として働いていた青木さんが写真家になったきっかけは、2015年にSNSで見た、ある写真です。「たまたま見た大山と満天の星空の写真に感動して、ポナスで一眼レフカメラを買って写真を撮り始めました」。その後、きっかけとなった写真を撮影した写真家の人とのつながりができ、その人が手がけるイベントの前撮りなどの手伝いをするに。そして、写真家としての独立につながる転機が訪れます。その写真家の人が行っていたツアーガイドなどの事業を引き継がないかと話を持ちか

けられたのです。「1年悩みましたが、これを逃したら二度とチャンスはないだろうなど思い、引き継ぐことを決断しました。人生一度きりですし、やらず後悔よりやって後悔です」と話します。

写真家を夢ある仕事に

今年の4月、旧遷喬尋常小学校で「県北の四季」がテーマの写真展を開催した青木さん。そこには、青木さんのある思いがありました。「これまで日本各地で撮影を行いました、改めて地元を見てみると、全国に通用する絶景があると気付いたんです。それを伝えたくて写真展を開きました」。そして、青木さんの活動の根幹にあるのは、地域活性化につなげたいという思い。「ただ発信

するだけではなく、一過性ではない地域活性化につながる仕組みを作ることを意識しています」と話します。

今後は、写真家という職業を夢ある仕事にしていくような活動もしたいと言っている青木さん。「写真家でご飯を食べていける人を増やしたいです。自分がその第一人者になりたいと思います」。

写真家・青木宏允さんの挑戦は始まったばかりです。

